

モバイルバッテリーに使用されているリチウムイオン電池は、衝撃や損傷等により発煙・発火に至るおそれがあります。機内におけるモバイルバッテリーの発煙・発火への対応強化、客室安全の向上を図るため、以下の対応をお願いします。



【出典】NITE

1. 預入(受託)手荷物に入れないで！

預入(受託)手荷物に入れることは禁止されています。
必ず機内に持ち込んでください。



2. ワット時定格量160Whまで！

ワット時定格量が160Whを超えるものは持ち込み禁止されています。

例) Ah) ワット時定格量 (Wh) = 定格容量 (Ah) × 定格電圧 (V)
mAh) ワット時定格量 (Wh) = 定格容量 (mAh) × 定格電圧 (V) ÷ 1,000



●●株式会社
定格容量: 27,000mAh
定格電圧: 3.7V (99.9Wh)

3. ショートしないように個々に保護！

端子に絶縁テープを貼る、ケースや収納袋に入れる、複数のバッテリーや金属品と同じ袋に入れないなど、ショートを防ぐこと。



4. 収納棚に収納しないで！

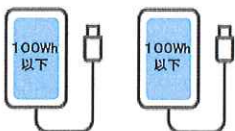
座席上の収納棚に収納せず、座席ポケットなどお手元に保管してください。



NEW! 令和8年4月24日から

5. モバイルバッテリーは2個まで！

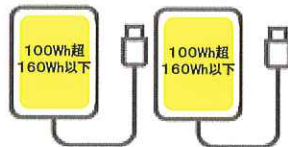
① 100Wh以下の
モバイルバッテリー2個持つ場合



100Wh以下の
予備の電池
個数制限なし

100Wh超~160Wh以下の
予備の電池 2個まで

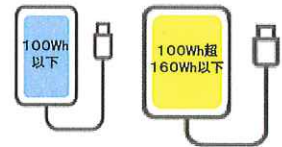
② 100Wh超~160Wh以下の
モバイルバッテリー2個持つ場合



100Wh以下の
予備の電池
個数制限なし

100Wh超~160Wh以下の
予備の電池 持ち込み不可

③ 100Wh以下と100Wh超~160Wh以下の
モバイルバッテリー各1個持つ場合



100Wh以下の
予備の電池
個数制限なし

100Wh超~160Wh以下の
予備の電池 1個まで

6. 機内で充電しないで！

機内電源などからモバイルバッテリーへの充電は禁止されています。



7. 機内で使用(電子機器への充電)しないで！

モバイルバッテリーから他の電子機器への充電をしないでください。
電子機器の充電は、機内備え付けの電源からお願いします。



【モバイルバッテリー】

- ・リチウムイオン電池を内蔵するもの
- ・他の電子機器を充電する目的のもの



【予備の電池(リチウムイオン電池)】

- ・デジタルカメラ等の電子機器の予備バッテリー
- ・電子機器から取り外したもの



※ 1-3、5-6に違反した場合、航空法により罰則が科される可能性があります。
※ 持ち込みできなかったモバイルバッテリーなどは、宅配便などによる貨物としても航空輸送できない場合があります。
宅配便などの運送事業者へ確実に申告のうえ、運送事業者の指示に従ってください。
※ 航空会社によって、より厳しいルールを設けている場合がありますので、各航空会社の指示に従ってください。